

全国農業

NATIONAL
AGRICULTURAL
NEWS

新聞

2024年(令和6年)

4月26日 金曜日
月4回金曜日発行

東日本版

「小学生に食文化伝えたい」

〈山梨・韮崎市 柳本農委会会長〉

アワ・キビ栽培し給食に提供

【山梨】 韮崎市農業委員会の柳本進会長（79）

「写真」はこのほど、同市教育委員会にアワとキビを寄贈した。

急傾斜が多い山梨県では、水稻の代わりにキビやアワを栽培してきた歴史があり、きび餅やきび赤飯が郷土食となっている。柳本会長は子どもたちにこの食文化を学んでもらいたいと、アワは2022年から、キビは23年から栽培を始めた。



アワ・キビともに栽培は初めてで苦労したが、県の農業技術センターや農務事務所、市役所の支援もあり無事に栽培し、収穫することができた。今回収穫したアワは市

内4小学校で、キビは韮崎小学校の給食で「アワご飯・キビご飯」として提供された。児童たちはおかわりの列を作り、栽培方法にも興味津々だったという。

柳本会長は今年も栽培する予定で、5月下旬から6月上旬の播種に向けて準備を進めている。「昔の食生活に触れながら食べ物の大切さも体感してほしい」
「今回学んだ知識を活かして、地域の農家にアワやキビの栽培方法を伝えていきたい」と力強く語った。